



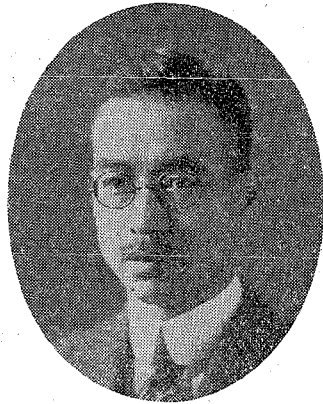
◎道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程に依り左の通り表彰し、關係地方廳に其傳達方を依頼せり。

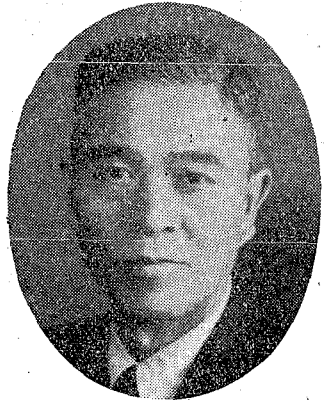
△昭和十七年四月二十日

- | | | | | | |
|-----|-------|----|-----|------|-------|
| 表彰狀 | 二等功績章 | 單杯 | 岐阜縣 | 修路工夫 | 山中 惣七 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 永田 久吉 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 若宮 巖 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 伊佐治左平 |

◎内務技監鈴木雅次氏 鈴木雅次氏は長野縣出身大正三年七月五日九州帝國大學工科大学土木工學科を卒業し大正六年十二月二十四日内務技師に任ぜられ東京土木出張所に勤務、同九年四月二十二日歐米各國へ出張を命ぜらる、同十年十二月二十二日内務省土木局勤務となる、同十一年八月十八日鐵道技師を兼任、昭和二年一月十八日工學博士の學位を授けらる、昭和九年五月十一日內



務省土木局第二技術課長となる、同十一年十一月七日土木局第一技術課長となり同十四年六月六日東京土木出張所長を命ぜられ同十七年三月二十五日内務技監に任ぜらる。河川の著作がある。



◎國土局道路課長岩澤忠恭氏 岩澤忠恭氏は廣島縣安藝郡仁保村に生る、京都帝國大學大正七年七月十三日工科大学土木工學科を卒業同八月一日内務技手となり同八年七月三日大分縣技手に轉じ同九年八月七日大分縣技師に任ぜらる、同十年七月十九日道路技師となり同十二年十二月十日内務技師に轉ず昭和四年

五月四日歐米各國へ出張を命ぜらる同五年五月十日歸朝す、同十一年六月二十三日東京土木出張所兼横濱土木出張所勤務となる、同十五年八月六日横濱土木出張所兼務被免同十七年三月二十五日高等官二等に陞叙國土局道路課長を命ぜらる。

◎特別會員子爵澁澤敬三氏 本會特別會員子爵澁澤敬三氏は日本銀行副總裁となられた。

◎陸軍省整備局長の交代 陸軍省整備局長陸軍少將山田清一氏は戦地某要職に轉られ、情報局第二部長陸軍少將吉積正雄氏其後任となられたるを以て本會は特別會員竝に評議員を新局長に委囑せり

◎日本空襲を狙ふ米軍用機

打ち續く敗戦を糊塗せんと敵は四月十八日午後大東亞戦争開始以來初めてわが本土を空襲し神經的な盲爆によつて無幸の民衆や市街地に非人道極まる攻撃を加へ輕微な損害を與へたのみわが軍官民一體の防空陣の闘魂の前に退散したが、米國機中我本土空襲可能なりと考へられるものは次のごとくである。

海軍機

①ダグラスSBD—1(索敵兼爆撃機)

採用一九四〇年、最高二三〇ノット、偵察距離八七〇哩、座席二、全幅二・五メートル、全長九・八メートル、全高四メートル、單發サイクロン九五〇馬力、機銃二、旋回銃一、

爆彈四五三・六キログラム

②ダグラスDBD—1(雷撃機)

採用一九三六年、海上最大速力一七三・一ノット、航續距離は雷撃の場合三七九哩、爆撃の場合は五三五哩、旋回機銃七・七ミリ二、固定機銃七・七ミリ二、搭載量魚雷九八八キログラム、爆彈八二二キログラム、座席三、全幅一五・二五メートル、全長一〇・七四メートル、全高四・一五メートル、單發八〇〇馬力、同機は引込脚で折たゞみ式になつてゐる

飛行艇

③コンソリデーテッドPBY—四

採用一九三八年、最高速力一七二ノット、航續距離は偵察の場合三七四五哩、機首および機尾に砲塔各一を備ふ、座席五乃至九、全幅三一・七メートル、全長二〇・六メートル、全高五・四メートル、双發二二〇馬力×2、二二七キログラムおよび四五四キログラム爆彈投下機を有す

④コンソリデーテッドPB2Y—二

採用一九三九年、航續距離は偵察の場合四三二哩、爆彈四〇〇キログラムあるひは魚雷二本、全幅三五メートル、全長二四・四メートル、全高七・六メートル、四發二二〇馬力×4

⑤マルテンPBM—一

採用一九三八年、最高速力一九五・四ノット(二二七ノットとも

いはれる) 航續距離、偵察約三四七四哩、機銃六、爆彈約三一七五キログラム、座席七(或は九)全幅三六メートル、全長二三・八メートル、全高六・七メートル、双發二二〇〇乃至一五〇〇馬力×2、行動半徑爆彈全裝備で一〇四三哩

陸軍機

⑥ ノースアメリカン B—二五

採用一九四〇年、最高速力二六九ノット、航續距離攻撃の場合一五〇〇哩、偵察の場合二七九六哩、有效搭載量三六二七キログラム、座席五、全幅二〇・六メートル、全長一五・七メートル、双發一三五〇馬力×2

⑦ マルテン B—二六

採用一九四〇年、最高速力三〇四ノット、機銃三一四、爆彈一四〇〇キログラム、三車輪、双發一八五〇馬力×2、着速大なるため特に夜間着陸時に事故多く「殺人飛行機」と稱されてゐる

⑧ ポーイング B—一七 D

最高速力二六六ノット以上、座席九、全幅三一・四メートル、全長二〇・四メートル、四發二二〇〇馬力×4

⑨ ポーイング B—一七 E

最高速力約二六〇ノット、機銃六、爆彈五トン、座席九、四發一二〇〇馬力×4、常用高度八〇〇〇—九〇〇〇メートル、行

動半徑は約一五〇〇哩といはれてゐる、機銃は動力式のもの胴體上部、下部、および機尾、手動式のもの胴體兩側に裝備

⑩ コンソリデーテッド B—二四

採用一九三九年、最高速力二六〇ノット以上(三四七ノットといはれ)航續距離は攻撃の場合二六〇五哩、爆彈四トン、座席六乃至九、全幅三三・五メートル、全長一九・五メートル、全高六メートル、四發二二〇〇馬力×4(一六〇〇馬力×4ともいはれてゐる)

◎ 内務省土木試験所談話會

第二百三十回特別談話會話題 昭一七、四、一〇午後一、三〇一、時局と學問教養 金鷄學院 安岡正篤氏

◎ 日本都市年鑑昭和十七年用

財團法人東京市政調査會編纂に係る日本都市年鑑(昭和十七年用)刊行せらる、戦時下に於ける市民生活の相貌と都市活動の實績を明かならしむるに意を用ひて編纂せられたるもの、即ち總説に於て時局の進展と都市、地方行政、財政の動向、市政概観を示し、都市の地域、人口、市政組織、都市計畫、地方計畫、國土計畫、都市の交通、運輸、瓦斯事業、上水道事業、保健、衛生、住宅、土地、社會事業及軍人援護事業、教育文化、娛樂歡興、警察保安、經濟、財政等諸般の事項は勿論、大町村、及滿洲國都市の狀態、支那都市並外國都市を網羅して餘す處なき編纂振である。

實際家は勿論都市研究者に取りて座右に供すべき良統計書と謂ふべきものである。

- ◎近刊圖書雜誌 寄贈交換
- 法律時報 (第一四卷四號四月號)
- 都市問題 (第三四卷四號)
- 港灣 (第二〇卷四號)
- 河川 (第一卷三、四號)
- 土木工業 (第四卷三號)
- 新民 (第三七編三號)
- 石油時報 (三月號)
- 警廳協會雜誌 (三月號)
- 鐵道之研究 (二月號)
- 清和 (第九卷三、三號)
- 汎交通 (三、四月號)
- (石川榮輝氏) 國土計畫と交通問題
- 地方行政 (九卷三、四號日文版)
- 鐵道軌道經營資料 (第二五卷三號)
- 企畫 (第四卷一一號)
- 大阪商工會議所月報 (三月)

- セメント界彙報 (第四〇九號)
- 土木學會誌 (第二八卷三號)
- (山本亨氏) 東京市の道路鋪裝に就いて
- 電氣通信學會雜誌 (第二二八號)
- 觀光 (第二卷三號)
- 道路 (三、四月號)
- (尾山嘉夫氏) 東亞國土計畫の中心問題、近藤泰夫氏、コングリート鋪裝の龜裂に就いて
- 水道協會雜誌 (四號)
- 土木試驗所報告 (第六四號)
- 日本都市年鑑昭和十七年用

春季駄句

白人

沖の帆は霞みて海の平なる
 門畑の世話頼みつゝ出代りぬ
 子の多き石炭船や春の川
 膨れ來て舳を浸せり春の潮
 タイプ打つ乙女が背の花の窓